

情報公開文書

◆ 胃癌集学的治療の研究

1. 研究の対象となる方

2000年1月1日～2021年5月31日までに当センターで胃癌の外科手術を受けた患者さん

2. 研究目的・研究の方法

胃がんは上部胃がんの増加がみられ予後の不良な症例も多く、Type4胃がんをはじめとした、治療成績不要な胃がん症例では手術単独での治療成績には限界があります。高度リンパ節転移や広範な漿膜浸潤胃がんの予後は不良であり、このような症例では手術成績向上のため、化学療法を術前および術後に施行する集学的治療が行われます。

術前化学療法による治療効果は最終的には手術標本によって判断されます。切除標本の病理学的治療効果と手術術式、周術期合併症、予後を評価することは、現行の治療を評価する上で必須の研究です。術後の予後および手術合併症や手術成績は今後の治療方針の決定や、治療方針の妥当性を確認する上で重要です。

本研究では、集学的治療として使われた抗癌剤の内容や投与方法と手術術式、手術合併症、予後について診療録をもとに分析します。

研究結果は学会や論文での発表を予定しています。

3. 研究に用いる情報の種類

情報；病歴、集学的治療として使われた抗癌剤の内容や投与方法、手術術式ごとの手術時間や出血量、合併症や入院期間および予後など
個人を特定しうる情報は明示しません。

4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター 食道・胃腸外科 滝口伸浩 他

5. 研究責任者

千葉県がんセンター 食道・胃腸外科 滝口伸浩

6. 個人情報の保護について

利用する情報からは患者さんを直接特定できるような個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

7. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、研究費を使用した研究ではありません。

研究に関する利益相反は、当センターの利益相反委員会にて適切に管理されています。

8. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています。

本研究は当センターの倫理審査委員会で審議され、研究の承認が得られています。

9. この研究への参加を希望しない時はご連絡ください。

あなたの情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。

また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 食道胃腸外科 臨床検査部長 滝口 伸浩
〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL 043-264-5431 (代表番号)